

Book Review

訪問看護師による 在宅療養生活支援を 可視化する 希望実現モデル

編著：川村佐和子



A5判・224ページ
定価：3,300円
(本体3,000円+税10%)
発行：医学書院

元来のありたい・あるべき 訪問看護を文書化・可視化した 画期的な書籍

評者

福井小紀子

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科研究科長，在宅・緩和ケア看護学分野教授

本書は，日本の訪問看護・在宅看護の第一人者であり，我々にその道を開き，導いてこられた川村佐和子先生が編集・執筆された書籍である。すでにこの段階で，川村先生と同じ志をもつ訪問看護に思いを馳せるそのお仲間が我々読者に何を届けてくださるか，ワクワクしながら読み進めることができる書である。

本書の「訪問看護師による在宅療養生活支援を可視化する 希望実現モデル」というタイトルは，まさに，地域や利用者から信頼が厚く，質の高い訪問看護を提供できている訪問看護師が，元来のあるべき・めざすべき訪問看護として，在宅療養者を支えるために最も大切に行っている看護行為を表している。訪問看護は，在宅療養者自身が，どのように生活したいか，どのように生きたいか，という意味や希望を丁寧な対話を通して捉えながら，その意思や希望に沿って支援していく。そのような訪問看護だからその醍醐味を「希望実現モデル」として，その考え方ならびに具体的な実践が，事例や制度内での解釈や具体的な対応例を含めて，丁寧にわかりやすく書かれている。

訪問看護師は，病棟看護師などよりも長期にわたり，在宅療養者とその家族との関わりが求められるという特徴をもつことから，「診療の補助」的な役割に加えて，「療養上の世話」的な役割がより大きく求められる。このため訪問看護師は，何を思想として，療養者とその家族のどこを大切に（それは，本書の一番のメッセージである在宅療養者の希望を実現させることである），それを受けてどのように関わっていけばよいかを自律して考えながら実践することが求められる。本書は，その方法を具体的に指南してもらえる内容も書かれた書籍であるため，お勧めする読者対象は，新卒の訪問看護師はもちろんのこと，中堅の訪問看護師が一段高い実践をめざすために，そして，管理者やベテランの訪問看護師が希望を実現する訪問看護を事業所皆で展開していくために，すべての訪問看護師にお勧めできる書籍である。

現在，訪問看護の事業所数は15000か所（全国訪問看護事業協会HP 2023年5月末時点）を超え，直近5年で約1.4倍と増加している（厚生労働省訪問看護参考資料 令和5年5月18日）状況である。このように訪問看護事業所数と訪問看護師数が，その社会的ニーズから量的に着実に増えているいまだからこそ，質の確保・向上をめざした訪問看護の提供が一層重要になる。本書は，訪問看護の質を保つために，「希望実現モデル」として実践現場の訪

問看護師が何をしたらよいかをつかむことができる書である。この本に書かれた実践が、より多くの訪問看護師によって繰り広げられていくと、日本の訪問看護・在宅医療・在宅介護はより希望に満ちたものとなることを、本書を読んで確信している。

ぜひ1人でも多くの訪問看護実践家に本書が届き、より質の高い実践の展開に向けて本書が拠り所となることを期待する。